

令和5年度大豆生育定期調査結果 No.3 (北上市 9月4日現在 登熟)

岩手県農業研究センター 生産基盤研究部 水田利用研究室 (TEL:0197-68-4412, FAX:0197-71-1081)

1 生育概況 (表1、図1)

高温傾向で経過したため生育は3品種とも旺盛で、平年に比べ、主茎長は6.0~18.3cm長く、地上部乾物重、莢生体重ともに平年より重くなっている。一方、主茎節数及び分枝数はそれぞれ、平年差+0.1~+0.9節、-0.9~+0.1本で概ね平年並となっている。また、葉面積指数は平年差-0.464~-0.082で、平年よりやや低くなっている。

表1 9月4日現在の生育調査結果 (播種日: 6月6日)

品種	年次	開花	主茎	主茎	分枝	葉面積	地上部	莢
		期	長	節数	数	指数*2	乾物重	生体重
		(日)	(cm)	(節/株)	(本/株)	(L A I)	(g/m ²)	(g/m ²)
リュウ	R 5年	7/26	62.2	14.8	4.7	4.401	987.6	1606.8
	平年*1	7/29	56.2	14.7	4.8	4.483	670.3	1085.1
ホウ	平年差・比	-3	+6.0	+0.1	-0.1	-0.082	147%	148%
	(参考)R 4年	7/27	66.7	15.8	4.6	4.832	827.0	1246.2
シュウ	R 5年	7/27	68.1	16.0	3.8	4.555	1027.9	1762.4
	平年*1	8/1	59.3	15.6	4.7	5.019	717.7	1044.4
リュウ	平年差・比	-5	+8.8	+0.4	-0.9	-0.464	143%	169%
	(参考)R 4年	7/28	64.1	15.9	4.8	5.993	923.7	1372.5
ナンブ	R 5年	7/23	78.3	15.9	6.1	4.749	1060.7	1434.8
	平年*1	7/27	60.0	15.0	6.0	5.038	693.5	1076.5
シロメ	平年差・比	-4	+18.3	+0.9	+0.1	-0.289	153%	133%
	(参考)R 4年	7/26	71.2	15.8	6.2	6.044	943.5	1442.6

*1: 「平年」は平成30年~令和4年の平均値。

*2: 葉面積指数はある栽培面積に存在する葉の総面積をその土地面積で割ったもの。



図1 各品種の生育状況 (9月4日撮影)

左からリュウホウ、シュウリュウ、ナンブシロメの順。

2 気象経過（8月～9月第1半旬；図2）

気温は、期間を通じて過去5か年の平均値（以下、「平年」と表記）より高く経過した。

日照時間は、8月は平年を大きく上回り、9月第1半旬は平年並となった。

降水量は、8月第3半旬は大きく上回ったが、期間を通じて降水量が少なく干ばつ傾向となった。

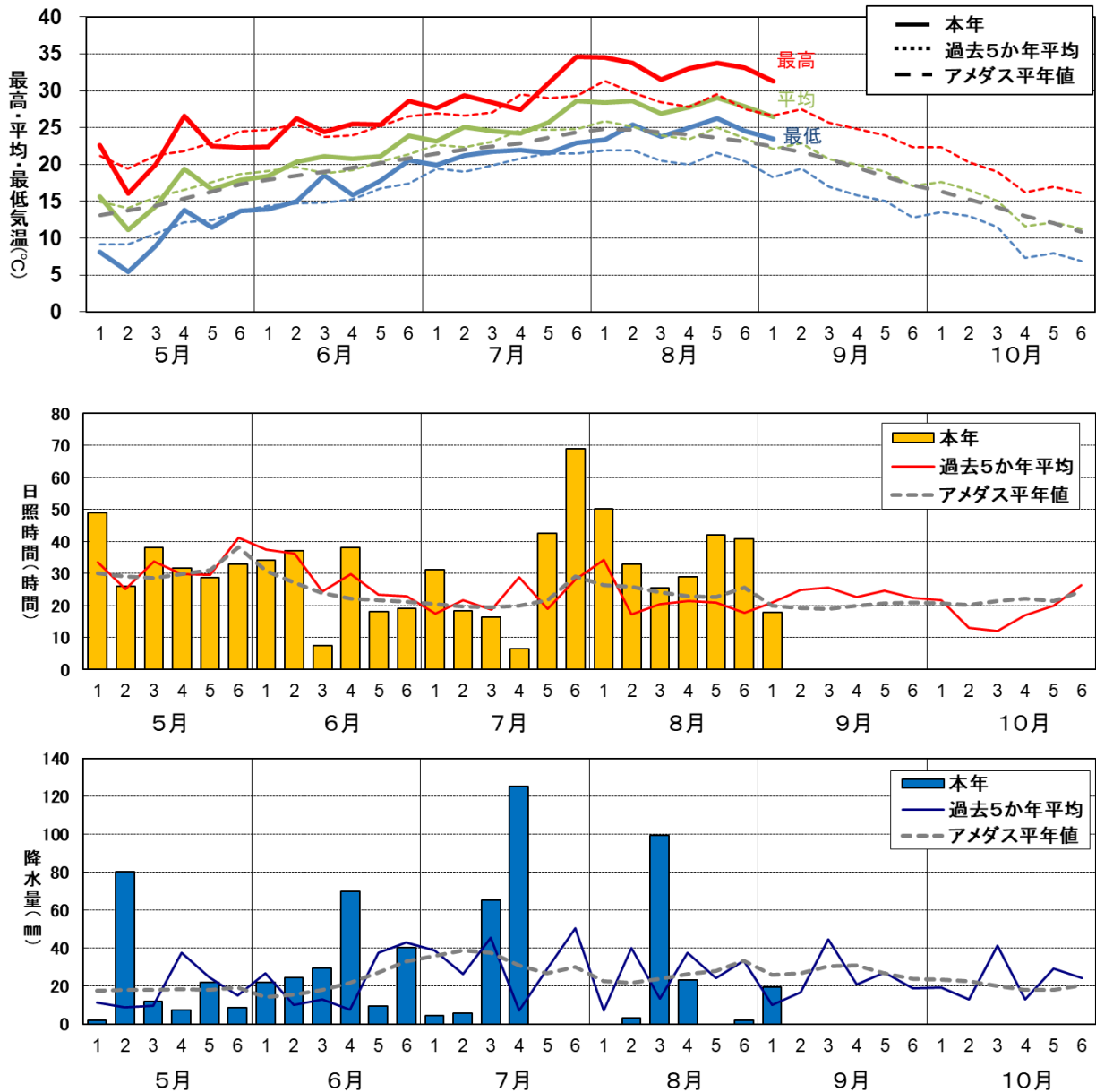


図2 気象経過図（アメダス北上、9月4日現在）

※1：「過去5か年平均」は平成30～令和4年の5か年の平均値。

※2：「アメダス平年値」は気象庁公表の平成3年～令和2年の30か年平均。

3 耕種概要

- (1) 調査場所 農業研究センター：北上市成田 標高90m 淡色多湿黒ボク土（水田転換2年目）
- (2) 播種日：6月6日
- (3) 栽植密度：9.52株/m²（畦間70cm、株間15cm、1株1本仕立て）
- (4) 施肥量（kg/10a）：N 4、P₂O₅ 12、K₂O 10、牛糞堆肥 1000
- (5) 雑草防除：エコトップP乳剤 600mL/10a（播種後出芽前）
- (6) 中耕・培土：1回（7月5日）